

Akita Care Manager Association

特定非営利活動法人



秋田県介護支援専門員協会

平成30年度の振り返りと31年度に向けての方針

特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会 会長 福本 雅治

平成30年度を振り返ってみると、夏には豪雨に見舞われ甚大な被害を受けるとともに、命に危険を及ぼす猛暑が続き、さらには台風や地震により避難生活を送らなければならないなど、これまでの当たり前前の暮らしができなくなってきました。日本中、どこで災害が発生してもおかしくない状況になってきました。

こうした中で、高齢者をはじめとするご利用者様に寄り添い、不安や苦しみを共有し、安心して暮らせるように支援をされている介護支援専門員が各地で奮闘していることだと確信しているところです。

さて、今年度は介護報酬の改定が行われました。介護報酬はマイナス改定になるのではないかと巷ではささやかかれておりましたが、プラス0.54%の改定となりました。今改正では、地域包括ケアシステムの推進、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現、多様な人材の確保と生産性の向上、介護サービスの適正化・重度化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保の視点が示されました。

介護保険制度においては、介護支援専門員が制度の要として、より質の高いケアマネジメントを提供していくことはもちろんのこと、さらには地域包括ケアシステムの中核としての役割も期待されております。

こうした中で、県協会では、昨年に引き続き、県の医療介護総合確保基金を活用し、「主任介護支援専門員に対する指導力等向上研修事業」を実施してきました。今年度は昨年を上回る68名より受講していただきました。

また、今年度においては、小原副会長より、県内3カ所の地区協会ごとに介護報酬改定の詳細な説明や今後の国の動向などを解説することで、我々が今後何を考え、どのような行動を起こしていくべきかを考える機会を設けてきました。

国の社会保障費が膨張し今後益々介護保険財政が厳しくなる中で、知恵やアイデアを出し合い、国や県、市町村とより密接な連携を図っていくこと、さらには医療分野をはじめとした関係機関や団体との連携強化を図っていくことが肝要と認識しています。そのためには、会員の増強を図り、会組織を強化し、頼られる組織となるために、ひとりひとりの会員の支援、協力をお願いいたします。

【目次】

【巻頭言】秋田県介護支援専門員協会 会長 福本 雅治	1P
【県内3地区協会活動紹介】	2～5P
【インフォメーション】研修・会議報告 介護支援専門員実務研修受講試験結果	6P
【秋田県介護支援専門員協会 運営活動報告】（事務局・部会等）	7～8P

県内3地区協会活動紹介

- 県北地区：大館鹿角・北秋田・能代山本
- 中央地区：男鹿南秋湯上・秋田・由利本荘にかほ
- 県南地区：大仙仙北・横手・湯沢雄勝

県北地区介護支援専門員協会

地区会長： 織田 崇（特別養護老人ホーム森泉荘）
事務局： 柳谷紗那子（介護老人保健施設 もりよし荘）
事務局連絡先 県北地区会長 織田 崇まで TEL：0185-75-3204 FAX：0186-75-3206
地区会員：188名（平成30年9月30日現在）

【活動報告】

各関係機関の皆さまには日頃から多大なるご支援・ご協力を承り感謝申し上げます。

さて県北地区介護支援専門員協会では地域包括ケアシステム構築の更なる推進に向けて、多職種が集う研修会を想定し介護支援専門員自らが研鑽を積み重ね、制度を理解し、マネジメント力・実践力を向上できるように研修を企画しました。

【研修報告】

◇第1回研修会

日時：平成30年5月19日(土) 14:15~17:15

研修参加者62名 場所：北秋田市交流センター

テーマ：「ファシリテーションスキルの基本～それぞれの思いをひとつの形へ～」

講師：まちづくりファシリテーター 稲村 理紗 氏

◇第2回研修会

日時：平成30年7月3日(火) 14:00~16:30

研修参加者89名 場所：能代山本広域交流センター

テーマ：「介護報酬改定の詳細解説」～ケアマネ視点からの運営・報酬算定と医療介護連携～

講師：日本介護支援専門員協会副会長 小原秀和氏

◇第3回研修会

日時：平成30年10月27日(土) 14:00~17:00

研修参加者93名(協会側申込69名、薬剤師24名) 場所：ルネッサンスガーデンプラザ杉の子

テーマ：「在宅医療推進のための県北地区介護支援専門員・薬剤師合同研修会」

講師：秋田労災病院副院長 奥山幸一郎 氏

秋田労災病院中央リハビリテーション部部长 河瀬 真史 氏

秋田県薬剤師会理事 地域包括ケア推進委員会 佐藤 一実 氏

秋田薬剤師会大館北秋田支部 杉本 忠洋 氏

やさしい風介護支援センター 杉山 真奈美 氏

各回の研修会の中で講義、グループワークから介護支援専門員と他職種が互いに必要性を感じとり、展望について意見交換できたことが、県北地区の連携促進に繋がったと思います。



今後も県北地区協会では、各職能団体と合同研修機会を持ち連携促進、マネジメント力が向上へ繋がられる研修を今後も企画し、また地区スーパービジョン研修を行うことで、各地区で活躍できる人材が増員できればと考えます。

中央地区介護支援専門員協会

地区会長：長澤 利一（特別養護老人ホームやすらぎホームけやき）

事務局：荒谷 亨（秋田聖徳会訪問介護事業所）

TEL：018-862-3267 FAX：018-862-4998

地区会員：292名 賛助会員：個人1名 団体3事業所（平成30年9月30日現在）

【活動報告】

今年度も中央地区協会の組織強化のため、各圏域（男鹿南秋、潟上、秋田市、本荘由利）での活動の活性化や圏域間の連携強化を進めてきました。研修事業では、介護報酬改定などをテーマに会員のニーズに沿った研修を様々企画し、専門職としての資質向上、会員同士の情報交換や課題の分析、関係機関との連携等により、地域包括ケアシステムの構築につながる活動ができたと思います。

【研修報告】

◇平成30年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第1回研修会◇

- ・日時：平成30年5月12日（土曜日）13：00～15：00
- ・場所：秋田テルサ1階多目的ホール
- ・参加者：180名
- ・テーマ：介護報酬改定の詳細解説
～介護支援専門員視点からの運営と報酬算定～
- ・講師：日本介護支援専門員協会 副会長

秋田県介護支援専門員協会 副会長 小原 秀和 氏



◇平成30年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第2回研修会◇

- ・日時：平成30年8月17日（金曜日）13：30～16：30
- ・場所：秋田県中央地区老人福祉総合エリア「多目的ホール」
- ・参加者：75名
- ・テーマ：災害支援ケアマネジャー養成研修報告会
- ・講師：光峰苑居宅介護支援センター センター長 三浦 秀己 氏
なないろ居宅介護支援センター 介護支援専門員 畠山 北光 氏



◇平成30年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第3回研修会◇

- ・日時：平成30年11月29日（木曜日）13：30～16：30
- ・場所：秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」会議室
- ・参加者：80名
- ・テーマ：実践できるスーパービジョンのコツ
- ・講師：東北福祉大学 総合福祉学科 教授 田中 尚 氏



【介護支援専門員育成の取り組み】

今年度も協会会員や他団体の協賛を得て『秋田けあまね塾』と新たに「グループスーパービジョン」をシリーズで開講しました。これからも様々な形でケアマネジャーの皆様をサポートしていきたいと思ひます。

県南地区介護支援専門員協会

地区会長：小原 秀和（介護老人保健施設 なごみのさと）

事務局：矢野 仁志（なごみ居宅介護支援センター）

TEL：0187-88-8711 FAX：0187-66-3212

地区会員：307名（平成30年9月30日現在）

【活動報告】

秋田県県南地区介護支援専門員協会では、今年度も研修会を3地区（大仙市・湯沢市・横手市）で開催しました。また、大仙仙北・横手・湯沢雄勝各地区では行政・医療関係者を交えた各種研修会等にも企画から加わるなどして、地域医療連携や多職種との協力体制を推し進めております。

【座談会】

秋田県県南地区介護支援専門員協会では、平成31年1月9日運営委員会を開催し、その中で日本介護支援専門員協会副会長（県南地区協会会長）小原秀和氏を交え、運営委員と座談会を開催しました。今回はスペースをお借りし、その様子をお伝えしたいと思います。



今日は、日本介護支援専門員協会副会長小原さんを囲んで座談会形式で、今回の介護報酬改定や中央の動向などを皆さんと語りあいたいと思います。

それでは小原さん、よろしくお願いいたします。

小原：介護報酬改定、居宅介護支援事業所運営基準の中で主任介護支援専門員が管理者になり、今回のダブル改定との絡みで、医療介護連携が大きな焦点になっていて、介護支援専門員にその大きな役割が期待されて

います。それを受けて、これまで医療介護連携がどう進んでいったのかを議論してみましよう。

入院時情報連携加算・退院退所加算等に介護支援専門員がどれだけ素早く関わっていったのか、医療連携にかかる仕組みや加算の取得件数がどう変わっていったか、医療サイドから介護支援専門員とこういう連携ができた、連携の仕組みができた等の実績が大切になってきます。皆さんの地域ではどのような変化がありましたか？

I：それぞれの地域の医療機関（総合病院）には、それぞれ入退院の調整窓口があるが、いわゆる地域のローカルルール的なところがある。圏域以外の介護支援専門員はそのローカルルールがわからない事もあって病院側が困惑することもあるのではないだろうか？
そういった問題を解決していく事も重要になってくると思います。

S：入院時情報連携加算については、（I）を算定（※3日以内の情報提供）する割合が50%ほど増えたと思います。しかしながら、休日の関係



とかで（II）を算定せざるを得ない場合もあって・・・。

小原：なるほど。地域それぞれの医療機関への対応の仕方が異なる状況であって、それを県南エリアで共有して介護支援専門員が医療機関とスムーズな対応ができる体制を考える事も私たち地区協会の役割になっていきますね。



また、入院時の連携については情報提供が素早くできている事と年末年始や長期の休みがある場合の情報提供が遅れてしまう事もわかりました。では、退院時の加算やカンファレンスについてはどのような状況ですか？

T：退院退所加算については、実質算定が難しい事が多いですね。実際カンファレンスを行って加算算定したものの、加算要件の職種の人がいないと実地指導で指摘され過誤したケースもありましたし(改定初期の算定をした時に多かった)。医療機関関係者や訪問看護・訪問リハ等要件に合う人たちが一同に集まってカンファレンスする事は、その利用者さんが多くの医療系サービスを使っているかないかによっても違ってきますし。

S：うちの事業所でも、カンファレンスはしていたのですが、参加職種要件に満たないと指摘され返還したケースが数件ありました。改定当初はカンファレンス参加者の解釈に迷いもあったりした事も事実ですが。



小原：そうなんですね。確かに退院時カンファレンス要件を満たす職種の方々については、皆さんがおっしゃるように複雑な面もありますから、一度取りまとめて周知するようにしていきたいと思います。

今回の介護報酬改正については、大きな流れは自立支援に向かってきているかであって、今はレスパイト一辺倒ではなく生活機能の向上等が主になってきている中で、利用者のニーズを正しく把握し地域の社会資源を有効活用しながら多職種と連携し、ケア&キュアの接点等考えて在宅生活を支援していく事が大切です。医療と介護、在宅から入

院、自宅から次の居住場所等、接点接点で起こる変化や課題をしっかりとアセスメントできるかどうかも重要ですね。施設のケアマネジメントも同じで、在宅から入所になりリロケーションダメージもあるだろうし、その人の生活支援の中で声掛けや寄り添い方を考え施設の役割を意識していかなければならないと思う。今回、日本介護支援専門員協会の職域5部会で作成したケアマネジメントの手引きもきっと有効な手段になっていくと思うし、秋田県3圏域からも伝達研修に派遣していきたいと思っています。医療から信頼されるための連携や取組み・研修も必要であるし、在宅での生活支援も必要。そんな事を踏まえながら主任介護支援専門員の役割も多くなりましたよね。介護支援専門員を指導・事業所の管理。専門的な分野だけではなく、介護支援専門員をアセスメントしていく事(スーパービジョン)が大切。PDCAがしっかりできているか、地域の介護支援専門員が何ができていて何ができていないかをしっかりと把握していく事が大切だと思うし、管理者がしっかりしているとその事業所の介護支援専門員も力量を兼ね備える事が出来ていこうし、そんなリーダー的な主任介護支援専門員になって欲しいし、ならなければいけません。地域の方々や医療・介護に携わる人たちにとって信頼のおける介護支援専門員になっていくための活動をこれからもみんなで行っていきましょう。

小原さん・運営委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

月刊ケアマネジメント12月号に、県南地区介護支援専門員協会についての記事が掲載されております。是非バックナンバーからお求めの上ご覧いただければ幸いです。今後も変化に即応した体制を作りながら、活動していきたいと思っています。

※ケアマネペンリレーは今回お休みしましたが、次回は県南地区会員からとなります。

【各種情報や研修会・会議報告】

平成30年7月14日（土）～15日（日）第12回日本介護支援専門員協会全国大会 in 福岡が、福岡市を会場に開催されました。



日本介護支援専門員協会 柴口会長のあいさつからは始まり、日本医師会会長横倉義武氏からは『世界から見る医療と介護の情勢』、厚生労働省老健局長濱谷

浩樹氏からは『地域包括システムと今後のケアマネジメントについて』と題し、介護報酬改定に伴う医療介護連携や地域を支える仕組み作りや2025年問題など様々な課題についての情報発信がありました。

全体会の後は、7つの分科会毎に会場を移動し情報発信や問題提起等各会場で熱い討論がされ、2日目にはその分科会報告で大会の幕を下しました。

次回第13回日本介護支援専門員協会全国大会は、四国の徳島県を会場に平成31年8月31日（土）～9月1日（日）に開催されます。各分科会も設定されますので、この機会にぜひ秋田県会員の方も分科会で発表をしてみませんか？



【インフォメーション】秋田県社会福祉協議会

平成30年度秋田県介護支援専門員実務研修受講試験について

《年度別 受験者数・合格者数・合格率》

《地域別（勤務先による）》

年度	受験者数	合格者数	合格率		28年度	29年度	30年度
28年度	1,599人	148人	9.3%	県北	34人	48人	11人
29年度	1,598人	231人	14.5%	中央	84人	106人	19人
30年度	639人	46人	7.2%	県南	30人	77人	16人
				計	148人	231人	46人

職種別合格者数		職種別合格者数	
薬剤師	1人	社会福祉士	1人
保健師	2人	介護福祉士	29人
看護師	4人	栄養士 (管理栄養士含む)	1人
准看護師	3人	精神保健福祉士	1人
理学療法士	1人	相談援助業務	3人

平成30年10月14日実施された平成30年度秋田県介護支援専門員実務研修受講試験の合格者数の発表があり、今年度は合格率が7.2%と狭き門になりました。受験者数の減少も全国的な数値にも表れている中で、秋田県の本年度受験者数、合格者数も過去最低となっております。

秋田県介護支援専門員協会 運営・活動報告

◆ 事務局

県協会からのお知らせ

平成31年度秋田県介護支援専門員協会総会が、5月11日（土）秋田県社会福祉会館を会場に開催されます。会員皆様のご参加お待ちしております。

また、参加できない方は委任状の送付を忘れずにお願い致します。

会員情報の変更をお知らせください

引っ越し・転職・異動等に伴う会員情報（自宅住所、勤務先等）の変更の際には、届け出をお願いしています。所定の様式（「届出変更書」）にご記入の上、各地区事務局まで提出願います。

◎ 研修部会 ◎

平成30年度も「介護予防従事者研修」「主任介護支援専門員に対する指導力等向上研修（委託事業）」2つの研修事業を行いました。

毎年開催している「介護予防従事者研修」には、86名のご参加をいただき、総合事業や介護予防の取り組み等の説明の後、経験年数2年未満・2年以上に分かれ計画書作成について演習を行いました。

「主任介護支援専門員に対する指導力向上研修」は、県の補助金事業として昨年度に引き続き開催しています。介護支援専門員の指導的役割を担う立場の主任介護支援専門員の指導力向上、また地域での総合的な調整力を培うことを目的とし、①マネジメント ②ファシリテーション ③スーパービジョンの3つを柱として3日間にわたり研修を行いました。今年度は、各地域から推薦をいただいた66名の方が修了しています。今後の課題として、研修修了者のフォローアップ、活躍の場の創設にも取り組んでいくことが必要と考えます。

今年度は他団体が開催している介護支援専門員受験対策講座に協力員を派遣し、合格率向上への支援、会員増強につなげるための活動として取り組みました。受験資格の変更等もあり、全国的に受験者数・合格者数が減少してきているなか、職能団体として受験対策にも力を入れていきたいと考えています。

PHOT：「主任介護支援専門員に対する指導力向上研修」から



◎ 調査研究部会 ◎

平成30年度は全県の居宅介護支援事業所を対象として介護保険改正後の「制度の理解・周知状況の把握」実態調査と平成29年度主任介護支援専門員指導力向上研修受講修了者に対して「受講後の活動状況」について調査を実施させていただきました。

居宅介護支援事業所対象調査においては秋田県平均と地区ごとに集計を行い、その比較状況から今後の各法人での取り組みや地区協会活動の参考にしていただければと思います。

主任介護支援専門員向けの活動状況調査では積極的な取り組みをおこなっている方もおり各地区で中心的に活動を広げ、社会資源の開発や人材の育成へ、関係機関と連携に繋がっているケースがありました。調査データについては秋田県介護支援専門員協会ホームページへ掲載しておりますのでご覧ください。

◎ 相談部会 ◎

相談部会では、「相談用紙」をホームページに掲載しています。ファックスにて相談部会員へ気軽にご相談ください。

今年度は、「顔（活動）の見える相談部会」をコンセプトに、中央地区では、研修時に相談コーナーを設けたが、特筆すべき相談はなかった。

また、10月8日秋田市で開催された秋田県介護福祉士会主催の介護フェアに相談コーナーを設置し、来場された一般市民の方から介護に関わる相談に対応しました。相談された方は、「悩みを聞いてもらってスッキリした！」と明るい笑顔でお話しされていました。介護フェアは、県内3地区で実施されており、来年度は、県北地区、中央地区、県南地区それぞれに設置するなど、他の職能団体等との連携強化のきっかけにしていきたい。

◎ 広報部会 ◎

広報部会では、『秋田県介護支援専門員協会ホームページ』の更新と共に、『facebook ページ』を開設して会員及び県民の皆様に幅広く情報提供をしております。各種研修会（事業所へ配布されていない研修情報）及び最新の情報等については、ホームページや facebook ページをご覧ください。

第17号（発行日 平成31年2月28日） 年1回発行

発行 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

事務局 〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1番5号 秋田県社会福祉協議会内

Tel: 018-864-2715

Fax: 018-864-2877

E-mail: shisetsu@akitakenshakyō.or.jp

広報部会	佐藤 昌子（県北地区介護支援専門員協会）	川崎 優子（県北地区介護支援専門員協会）
	工藤 寿廣（中央地区介護支援専門員協会）	西山まゆみ（中央地区介護支援専門員協会）
	武田 学（県南地区介護支援専門員協会）	渡部 勝（県南地区介護支援専門員協会）